

健康平和研究

20年第1章 沖師に学ぶ

未来人に 1 〈根源性〉 3 生理聖人へ協同

6

20年7月15日号より

(や＝山田 学)〔☆★☆未来人に★☆☆梅
雨前線の異常な停滞。異常な豪雨。日本列島の
気象はどうなつてゐるのでありませうか。
亡くなられた方がたに、謹んでお悔やみ申し
上げます。被害にあはれた方がたに、謹んで
お見舞ひ申し上げます。〕

日本も世界も、先行き不透明感があります。
わたしどもが、もっとも注目してゐるのは、
ヨガの沖 正弘師 (1919～1985) です。沖師
は生前、かう言つてをられたさうです。「お
れの思想は、おれの死から100年後に、ま
ともに理解されるだらう。」1985年7月、師はす
べての原稿を完成後、永眠され、永眠後に主
著『生きている宗教の発見だれでも悟り救われ
る沖ヨガ修行法』(竹井出版1985年8月)が出版
されました。これは、世間への売れ行き可能
性に配慮せず、出版されたもののやうです。
沖師の上のことばのごとく、むしろ未来人に
こそ、まともに理解される著であらうと、わ
たしどもは判断してゐます。この著の「まえ
がき」の冒頭を、ここに、ご紹介しておきま
す。〕

(『生きている宗教の発見』1～2ページより)〔私

はこの書を通して、人類の救われる道は本
当の宗教の実践のみにあるということ、ま
た本当の宗教とは一体何であるのかをのべ
たいのである。

人類は歴史始まって以来今日まで一度も救
われたことがない。だが本能的に誰もが救
われを求めつづけている。救われを求めて
いない人は一人としていないはずでありな
がら、なぜ異常現象や悲劇が絶え間なく起
りつづけているのだろうか。一見して人類
を救うかの如く見える主義や思想が次々と
生れて来たが、本当に効果のあるものは一
つもないと言ってよい程である。それは人
々が、人間の生き方は宗教心を中心にした
ものでなければならないことに気付いてい
ないからである。

人間が異常現象をおこす原因には大別する
と次の二つのものがある。その第一は嘘の
ことを本当のことのように思い込まされ、
疑いを持たずにそれを行っていることであ
り、第二はエゴイストになりやすいことで
ある。我々は、ものごとの本当の姿を理解
すること、すなわち悟りを開き、エゴを浄
化する生き方をしなければ決して救われな
いのである。その為の道と方法を教えるも
のが本当の意味の宗教であり、正しい宗教
によってのみ人類は救われうるというのが
私の確信である。そして私はこの事を説く
ことが、使命であるとの生き方をしている。

(中略)

私は宗教書を出したいという願いを三十年
間持ち続けてきたがどうしても書くことが
できなかつた。それは、宗教は真実のみを
伝えるものであって、少しの嘘やいつわり
があつてはならないものだからである。ま
た宗教は書いたり、読んだり、語ることに
よつて解りうるものではなく、実行しての
み解りうるものであるから、年月をかけて
とにかく実行してみようと決心したのであ
る。自分が体得し自分の生活そのものにな
つた表現でなければ嘘のものである。私は
嘘の生き方をしたくないのである。〕

(や)〔「宗教」の語を用ゐると、沖師の真意
を誤解されやすいと、沖師自身が語つてをら
れます。それでも師は、主著にて「宗教」の
語を用ゐられました。

わたしどもとしては、「宗教」の語は避けさ
せていただき、〈道徳〉と表現し、数年後に
一定の活動を開始させていただくべく、着々
と準備を進めてをります。

以上は、ITやロボットなどを発達させること
よりも優先されると、わたしどもは考へま
す。〕

20.1.15.より

(や)〔☆★☆〈根源性〉★☆☆☆

あけましておめでとうございます。

年頭から、いきなりですが、法律とか、国家
といふものが、もっとも根本的なものなのか。
それから解脱していく〈狭き門〉もあるので

はないか。わたしが若いころから、何度も読み返してある、ヨガの沖 正弘師の『ビジネスマン幹部のための菩薩道入門ヨガ総合健康法(下)』(竹井出版1980年)に、さりげなく、こんな〈根源性〉の発言もあります。]

(『菩薩道入門』71～73ページより) [ひと口に
いえば、人間教育の眼目は、法律なしに、
人間社会の秩序と自由を保ちうる人間性をつくりあげていくところにあるのです。法律によらなければ、社会秩序が保てないとは、人間悲劇といわずして、なんといえるのでしょうか。いうまでもなく、人間は社会的生活者です。人間には、おたがいに協力しあって、社会全体のバランスをとるとい
う使命感があります。このことを意識的に
心がけることが、人間性の尊さなのです。
私は、この能力のことを“愛”と呼んでいます。

人間には、他をも自分と思って生き、他の自然の働きのように、自分を他の中に埋没する本性があります。日光や空気のように、自分を他人の中に溶けこませて生きることです。私にいわせれば、この自他一如の生き方が奉仕生活であり、宗教的生活なのです。他のためにつくすことによって、おのれも生きる。他を生かすことによって、自分も生かさせていただく。

このように、自分の全部を他のために投げ出し、無我無心の状態になるのが、自然の道であり、自分のほんとうの心である、と

思います。

私は、道場の人たちにいうのです。どうしたら、自分で自分の生活を守ることができるか、といった狭い自己愛をもつより、他に守られて生きていく工夫をなさい、と口癖にいらっています。そうすれば、他を守った程度に自分が守られるのです。他に利益をあたえた程度に、自分にも利益があたえられるのです。他をよろこばせた程度に、自分もよろこばせてもらえるのです。他を救った程度に、自分も救っていただけるのです。これが、心のバランスを維持する法則です。

もう一步、考えをすすめてみましょう。逆に、困ろうと思っても、他の人が困らせなくなったら、はじめてそこに、まことの自由生活がはじまるのです。

そこで、現実には、自分が困ろうと思っても、社会全体が困らせないような自分となるためには、他につくすことだけを考えることです。そして、奉仕生活のできる人間になるために、健康と知性と情操とが必要になってきます。これが“悟り”の境地で、そのために勉強と修行が必要になるのです。]

(や) [諸民族闘争や資産階級闘争から解脱し、野性社会たる健康平和社会を創出していく。少しずつ、少しずつ、少しずつでもよいから、おたがひが尊い人格を顕していきやう、協力させていただく。この〈求道実行〉なくして、どんな宗教も、どんな思想も、有意義であり

うるでせうか。]

20.4.15.より

(や) [☆☆☆生理聖人へ協同☆☆☆☆「だい
ぢょうぶだぁ」の人が大丈夫でなく、一定の
覚悟をしたかもしれない日本国民…

新型コロナウイルスに対する人間の生体防御力を、どう高めあふか。

おたがひの健康平和な生活を生産しあふ経済へ、どう再編していくか。

以上において、TOKYO2020のあり方をどう考へるか。

世界と日本は、この目標に集中したいものです。

わたしは今、ある気づきがあり、わたしにとり、もっとも大切な本、沖 正弘『生きて
いる宗教の発見だけでも悟り救われる沖ヨガ修行法』
(竹井出版1985年)を(何十回めの)再々読を
してゐます。その気づきに向け、わたしなりの
表現にて重要メモを記しつつ。メモの内容を
深くご理解いただくには、むろん、多くの
補足説明が要りますが、ここではあへて、
メモをそのまま公開させていただきます。

＊

苦しみ悩みにお詫びする。さうしつつ、生理にしたがふ。そのやう、おたがひを、生かさ
せていただきます。これを、求道ぐだうと言ふ。自身の生活の範囲にある、人間や他生物。その
すべての細胞の、代謝につき、それらの、健康な調和をこそ、冥想させていただきます。

自他の生理にしたがはぬ、道徳としての罪。それを、しだいしだいに、すすいでゆきあふ。神経と筋肉へのO₂の流通。呼吸調整法としての、修正法。都市生活の野性化。保健としての道徳。それを確立していく安心。

〈生理にしたがふ、個性別の道徳〉。それを推進する、協会と公会。生体と認識の個性。それを反映する、個性別の道徳。たるべし。ひとりひとりの個性別な、求道実行。それなくして、社会の統一なし。一方、おたがひの生活を、健康平和化していくこと。それなくして、個人の満足もなし。

道徳共同体の創造。人間社会の健康平和化のみを、欲求する喜び。

諸国家の伝統や、諸思想の伝統。それには、ひとりひとりの生命運動を、抑圧してある面も、ある。だから、さういふ伝統の、はからひやとらはれから、解脱していくこと。それも、生命運動を、解放する。人間は、生命運動を、認識により、運営してゐます。この数千年間の、諸部族や諸民族どうしの闘争。それにおいて、認識が、自他の生命運動を、抑圧してある面も、あります。それこそが、迷ひである。自他の生命運動を、解放していく、求道実行。ひいては、諸民族調和こそが、望ましいです。

世界の諸分野について、個性別に、〈健康平和な現実認識〉を、みづから、追究しあふ。人間社会を健康平和化していく。そのやう、学問を、整理する。物理の必然。それを確信

し、それにて安心する。とともに、個性別の道徳。それへの意志を誓ひ、それにて安定する。

資産増殖を競争しあふ、人間社会。から、健康平和な生活を、追究しあふ人間社会。へ。資産を所有する、個人による、契約社会。つまり、権利と義務から、おたがひの体内に、注意しあふ、個人による、守りあひ社会。つまり、人情と義理へ。〈聖なる重厚さの、次体制＝諸民族調和〉。それへの、合掌。〈俗なる軽薄さの、現体制＝金融闘争〉。それから、解脱していく、修業。姿勢動作と、呼吸と、食事と、人間関係と、精神と、生活環境の、修正。地球公会協会創造提案。生理聖人へ協同。生理にしたがふ。さういふ、聖なる人格へと、めざしあひませう。そのやう協同させていただきます。]